

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回福津市学校給食委員会
開催日時		令和7年9月3日（水） 午前・ 午後 3 時 3 0 分から 午前・ 午後 4 時 5 0 分まで
開催場所		福津市役所 別館大ホールE
役員名		（１）出席 吉住会長・近藤副会長・宮崎委員・岡野委員・深田委員、西野委員、神田委員、國廣委員・村山委員・田中委員 （２）欠席 都留委員
事務局		石井学校教育課長・猪山保健給食係長・矢野
会議	議題（内容）	・学校給食費の見直しについて ・物資調達部会について
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	・会議次第 ・委員名簿 ・福津市学校給食委員会規則 ・資料① 福津市立小中学校給食費の改定について（諮問） ・資料② 学校給食費の見直しについて ・資料③ 副食費の算定 ・資料④ 物資調達部会について
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
その他の必要事項		

審 議 内 容 （発言者・発言内容・審議経過・結論等）

1. 開会行事

進行：矢野

- （１）挨拶 石井学校教育課長
- （２）委嘱状交付 机上交付
- （３）委員の紹介 自己紹介
- （４）福津市学校給食委員会規則について
- （５）会長及び副会長の選出
会長：吉住 美津子（福間中学校長）
副会長：近藤 浩美（上西郷小学校長）
- （６）会長挨拶
- （７）諮問

2. 議事

進行：吉住会長

学校給食費の見直しについて

（事務局） 【資料②学校給食費の見直しについて説明】

学校給食は、学校給食法に基づいて実施している。

学校給食費は、学校給食法第 11 条に「経費の負担」があり、学校給食の実施運営に必要な施設整備費調理従事者等の人件費は学校の設置者福津市負担になりますが、それ以外の経費は原則として保護者が負担するものとなっている。

（学校給食費の改定（見直し）理由）

昨年、学校給食費改定についての協議を行い、令和 7 年度 4 月より小学校給食費は 310 円、中学校給食費は 400 円に改定した。そこに福津市学校給食費物価高騰対策補助金を活用し増額分をそこに充てたため、保護者負担額は昨年から変更されていない。原材料価格の上昇しているなか、児童生徒に栄養バランスのとれた安心安全な学校給食を安定的に提供していくため、令和 8 年 4 月からの学校給食費の見直しを協議していただきたい。

令和 8 年度の 1 食当たりの給食費の見込み額は、小学校は主食 52.93 円、牛乳 65.17 円、副食 190.65 円で計 308.75 円（消費税込み 333.45 円）、中学校は主食 70.5 円、牛乳 65.17 円、副食 258.8 円で計 394.47 円（消費税込み 426.03 円）となる。現在の一食あたりの給食費は、小学校 310 円、中学校 400 円であるので、令和 8 年度の見込み額はそれぞれ 30 円ずつ増額し、小学校は 340 円、中学校は 430 円と考えている。もし仮に補助金がなかった場合、この見込み額で改定をすると、保護者負担額は小学校で 1 食あたり 70 円、中学校で 100 円の増額になり、年間では小中学校それぞれ、1 万 3300 円と 1 万 9000 円の増額となる。

（委員） 令和 8 年度に向けての補助金の有無については年度末までわからないのか。

（事務局） 補助金の財源となる国の特例交付金が決まっていなかったためはっきりしない。昨年度は年明けになって決まった。どこの自治体もまだはっきりわからない状況。

（委員） 2026 年から段階的に給食費を無償化しますというニュースを見たが。

- (事務局) 国会でも議論は続いていたが、財源を確保できているのかなど国の制度について全く示されていない状態。8年度から果たして間に合うのかもわからない。
- (委員) 補足で、8月に開催された全国学校給食全国大会でも無償化についての話があったが、現時点では一切言えることはないとの説明だった。実質的には厳しいのではないか。
- (会長) 先ほどの増額について、質が落ちて唐揚げ1個みたいなことにならないように、質を落とさないための金額設定になっているということか。
- (事務局) 昨年の協議で値上げした差分は補助金で埋めたが、今回の上昇率に関しても、特段福津市が高く設定しているわけではない。来年度の特例交付金いかんによっては、値上げをしなくても保護者負担が上がることも考えられる。
- (会長) 据え置きした場合のデメリットは。やっていけるのか。
- (委員) 給食の質について、実際に1年間仕入れた食材から単価を計算しているが、金額を安く抑えるために、お肉を単価の安いものに変えたり、生魚を加工されたフライに変えるなどして帳尻を合わせることが出来るので、極端におかずが1品減るといふことにはならない。ただ、デザート回数は減る可能性はある。また、米や牛乳の単価もどんどん上がっていて、今年度と同じ上昇率ではない可能性は高いが、言われた金額でやるしかない。
- (会長) やろうと思えばこの金額内でやれるということだが、維持にしても来年度補助金がなければ実質は保護者負担額が上がるということか。
- (委員) 今の内容をPTAで報告するほかに何かできることがないか。この協議は持ち越すことが出来るのか。
- (事務局) 答申を受けて教育委員会に諮るため、時期や招集を考えると難しい。
- (委員) 物価の高騰は止まらないので、抜本的にどこかで改革が必要。
- (委員) 家庭の中でも物価高騰を実感しているので、給食費が上がることに違和感はないが、まだ子供が小さい保護者にはきついと思う。無償化運動をしている地区もあるし、値上げに反対する意見はあると思う。
- (委員) 近隣の市町村の金額は。またその給食費を押さえる工夫は。
- (事務局) 宗像市は福津市と同じく自校式で小学校317円、中学校391円、古賀市はセンター方式でコストが安く、小学校256円、中学校299円となっている。
- (委員) 地産地消の問題でコストも上がる。バランスが難しい。
- (委員) 市外から引っ越してきた方から、給食は格段に美味しくなったと聞いた。
- (委員) 美味しいと聞くし、残菜も少ない。やっぱりよく食べてくれている。
- (委員) 補助金が単年方式とのことだが、この維持を要請してほしい。福津は自校式で栄養士の方々の努力で成り立っている。センター方式と比べるのは論外と思う。
- (委員) 今の給食を維持するのにこれだけ物価が上がっているなら、給食費をあげるしかないのか。
- (委員) 2段階上がるとなると一部保護者からも不満がでると思うが、理解は得られるのでは。補助金頼みにはなるが、30円上げる方がリスクは少ないのか。
- (委員) 栄養士はこの金額でやりなさいと言われたらその中でやっていく。生の野菜を冷凍に変えたり、産地を変えたりして、量や栄養価、味を変えないように工夫して、そうやって金額をあわせていく。比較的大きな学校は大きな規格で仕入れることができるが、小さい学校はロットが小さいため、同じ献立を作っても単価が高くな

る。値上げをしないとすると、小さい学校は厳しくなる可能性があるが、それぞれの学校は費用を抑えるためにいろいろな努力をしている。だから、やろうと思えばやれる。何年もは無理だが。

(副会長) 昨年のように小さい学校により手厚く補助金を充てられたら良いのでは。

(事務局) 昨年の補助金は原材料費の10%まで補助するもので、今年度はそれを1食当たりの負担額の差額に充てた。市の単独事業ではなく、どちらも同じ国の補助金を活用したもので、充て方の違い。

(委員) 無償化している自治体もある中で、福津市はそれができない分、値上げをしないまま維持できるようにどうかしのげないか。

(会長) 最終的には教育委員会で議論していただくことになると思うが、この委員会の答申として、据え置きということでどうか。据え置きとは、補助金がなかった場合は保護者負担額は小学校40円、中学校70円上がることとなる。

(委員全員) 了承

(事務局) もう一点、次回の見直し時期について検討したい。

(会長) 国の状況も変わると思われるため、来年も検討するという事でよろしいか。

(委員全員) 了承

(会長) では今の意見を踏まえて答申を作成していきます。

次の議題に移ります。物資調達部会について。

(事務局) 学校給食で使用する食材は2年毎に学校や調理場が物資納入業者と直接契約して仕入れている。申請された業者を審査する物資調達部会を今年度開催する。1月に登録申請開始、2月に部会を開催して審議し、3月に契約手続きを行う。

物資選定委員は名簿に丸のついた6名にお願いしたい。

業者の高齢化に伴い新規開発も必要になる可能性がある。

(委員) 物資納入業者は福津の業者が多いのか。どうやって選んでいるのか。

(事務局) 昔からの地元の業者が多いが、ホームページから一般公募している。産直だけでなく、市場仕入れの八百屋や学校給食会からも選択肢がいろいろ取れるような契約ができるようにしている。

(委員) 地元の業者を応援するような市の支援はあるのか。

(事務局) 学校教育課で行っているものはない。

(委員) 仕入れは各学校ごとに行うのか。一括仕入れして安くできないのか。

(委員) 学校の規模を考慮して業者の割り振りを教育委員会が行うことで、同業種の業者に対してある程度均一に収入が入るようになっている。

(事務局) 学校給食衛生基準があり、食材を置いておくことが出来ないなど制限がある。厳しい基準の中で栄養教諭が工夫している。

(会長) 先ほど取りまとめた答申案をお願いします。

(事務局) 答申(案)読み上げ

(会長) これに関して、何かご意見は。

(委員) 令和8年度の物価高騰の助成を強く望むといった文言を付け足せないか。

(事務局) ではなお書きで要望を付け加えて修正を行う。

修正答申(案)読み上げ

(会長) この内容で答申してよいか。

(委員全員) 了承

(会長) 答申読み上げ

教育委員会に答申提出

(事務局) 答申を無事いただきありがとうございました。また、慎重なご審議を賜り誠にありがとうございます。

本日いただいたご意見は、今後教育委員会の中でもしっかり受け止めながら、安心安全な学校給食の運営に反映させてまいります。

3. その他

進行：矢野

(事務局) 第1共同調理場も20年を超えて中学校の給食も20年目を迎えた。学校給食運営については、学校給食の提供が滞りなく実施できるように、老朽化の進んだ施設の厨房機器更新や新規導入を計画的に実施していく。

今後の学校給食委員会については、検討事項、報告事項等があれば開催する予定としている。

閉会